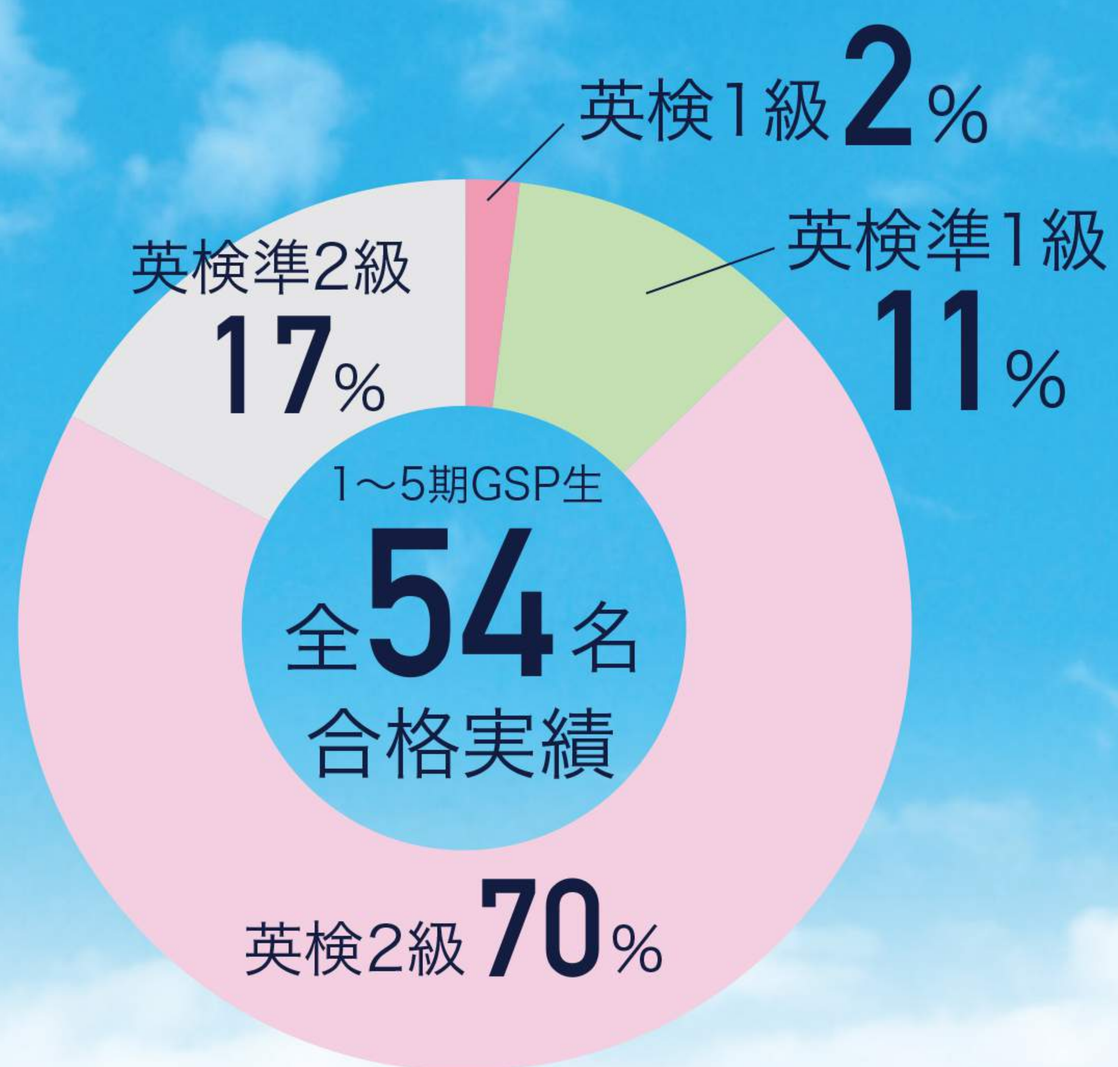
［2018年度生募集］

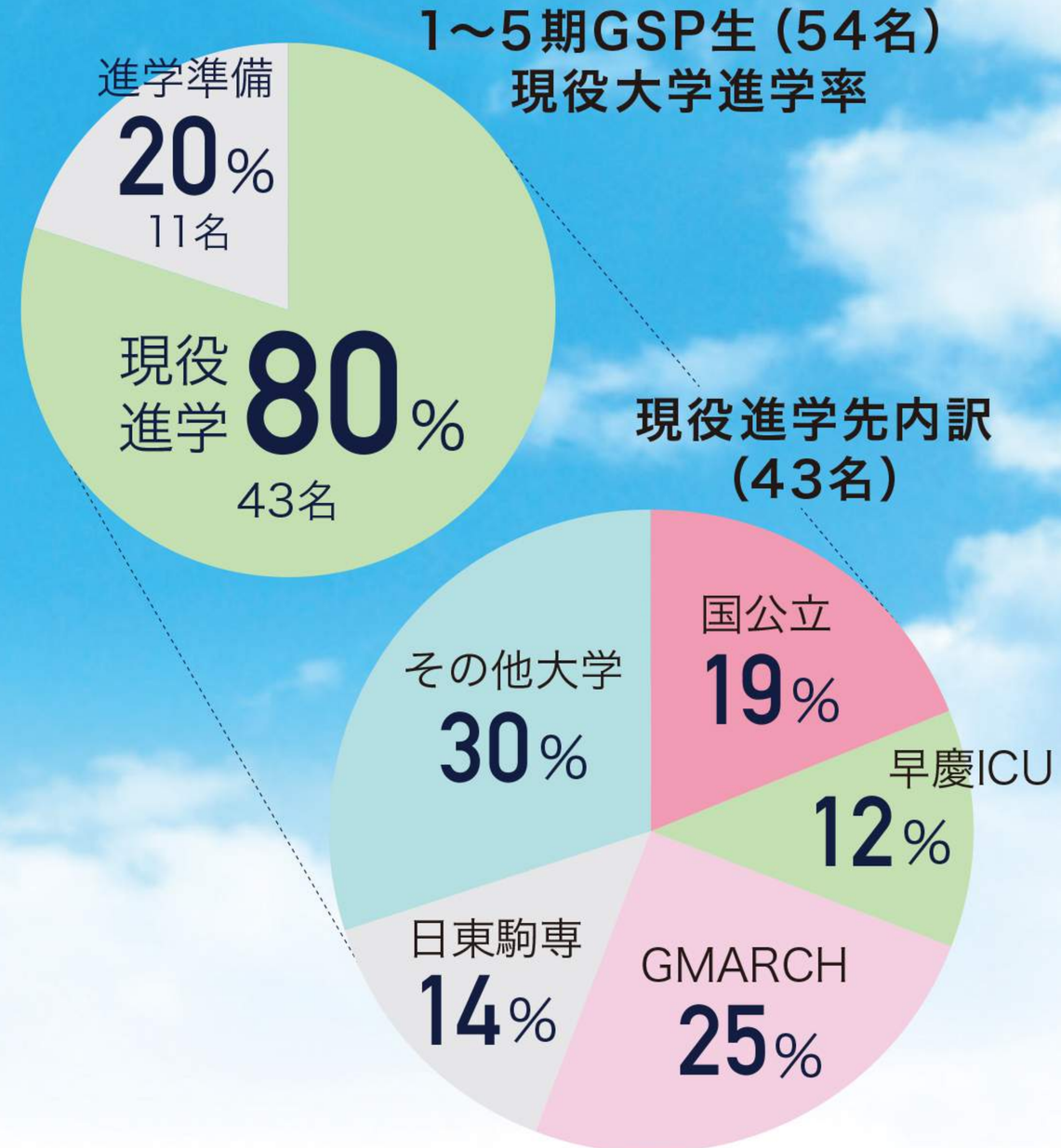
# MEIHO

## GLOBAL STUDIES PROGRAM

### 2016年度トピックス

- ✓ NFLJ（全国英語ディベート大会）で3勝！
- ✓ 中3・高1で英検準1級合格者を輩出！
- ✓ 特別顧問にiCLA学部長（元国際教養大学教授）を招聘！
- ✓ 留学促進のための補助金制度（105〜125万円）を整備！



英検準１級 × ３ヵ月留学 × 21世紀スキル で

# 7年後、世界で大活躍するイノベーターに！

# 明法GSPとは　「世界に挑む日本人」を育成するプログラム

近年、かつてないスピードでグローバル化は進展しています。
企業は業種を問わず、グローバルに展開することが当たり前の時代となりました。
７年後、明法卒業生たちの多くが「世界」をフィールドに活躍していることでしょう。
これからの時代、文系・理系を問わず、**「文化を異にする仲間と協力し、チャレンジ精神と問題解決を通して新たな付加価値を創出していく力」**が必要になってきます。
本プログラム（GSP）では、「英検準１級の取得」「３ヶ月留学」「２１世紀型スキルの修得」を３本柱とし、グローバル人材を育成していきます。

## 2017年度　募集要項

**募集対象**　新高１生

**定　員**　20名

105万円の補助金制度あり!
東京都私学財団補助金 55万円
明法GSP特待制度 50万円

**資格基準**　本校の入試に合格した上で、次の基準のいずれかを満たすこと。

a．英検準２級以上を所持していること

b．英検準２級程度の会話力を必要とする英語による面接（推薦入試・一般入試ともに実施）に合格すること

※ＧＳＰ生はプログラムに含まれる行事および授業などに参加していただきます。
　但し、入学後プログラムが求める参加条件を満たせない場合には、プログラムに参加できなくなる場合があります。
※詳しくは明法高等学校入学試験要項をご覧下さい。

## 明法GSPカリキュラム

| | 高1 | 高2 | 高3 |
|---|---|---|---|
| 正課授業〈選択〉 | | ２１世紀α（週３時間）※文系選択科目 | ２１世紀β（週２時間）※文系選択科目 |
| 放課後講習〈必須〉 | 英語で学ぶ日本文化（全８回）<br>英検準備講座　２級レベル～準１級レベル（週１回程度） | | |
| 宿泊行事〈必須〉 | 事前研修　ターム留学 高１・３学期 約３ヶ月間 | 事後指導 | |

# ターム留学　世界各国から留学生が集うオーストラリアで高校生活！

オーストラリアの私立高校（共学）に一学期間留学するイマージョン・プログラムです。
学校とホームステイ生活の実体験を通じて異文化に触れ、そこから派生する諸問題を自分の力で解決する能力を養います。また、様々なことにチャレンジする中で、実践的な英語力が身につくとともに、世界に触れることで視野の拡大や国際感覚も培われていきます。

## プログラムの特色

### 1　発信型の英語力を身につける

事前研修として「英検準備講座」「英語で学ぶ日本文化」「オンライン英語学習」の３つの英語強化プログラムが用意されています。これらは全て、留学中に英語で自己主張したり、他者とコミュニケーションを図る際に必要となる力を、出発前に徹底して鍛えるためのものです。帰国後のシェアリングセッション（事後報告会）では、多くの聴衆を前に帰国生たちはパワーポイントを駆使した英語によるプレゼンテーションを堂々とやってのけます。

### 2　多様性を醸成する

留学先のビクトリア州・メルボルンは、多種多様な民族が居住し、アジアやヨーロッパから多くの留学生が集う、異文化体験にはうってつけの環境です。キャンパスやホームステイ先では、宗教や世界の時事問題に関する話題が出ることも珍しくありません。日本文化を事前に学習して出国する生徒たちは、自らの異文化体験に対して相対的な視点から考察を深めていきます。

### 3　チャレンジ精神と協調性を養う

留学中は授業だけでなく、キャンプ合宿やスポーツ大会などの各種学校行事を通して、現地の高校生や留学生たちと時に競争し、時に協力し合わなければならない場面が多々生じてきます。異文化の地で自ら積極的に事にあたり、周囲と協力して物事を解決していくプロセスは、日本の高校生にとってはとても勇気がいると同時に、決して容易なことではありません。一方で、このような機会はチャレンジ精神や協調性を養う上では絶好のチャンスと言えるのです。

## ターム留学のプログラム内容　留学の事前・事後指導もガッチリ

# 事前研修　高校1年：4月〜12月

## 英検準備講座（２級〜準1級）

### 英検２級〜準１級合格レベルに対応！

高校１年次の３学期（ターム留学出発前）までに、参加者全員が２級の取得を目指します【Intermediate Class】。
過去7年間（本校ターム留学生総数89名）のデータから、渡航前に英検２級以上に合格した生徒は「留学中の学習効果が高い」ことが分かっています。なお、既に２級以上を保有している生徒や帰国生（高２）には、準１級合格を目標にした講座【Advanced Class】が用意されています。

## 英語で学ぶ日本文化（全8回）

### 留学中は「日本人」を意識する毎日です！

本講座では、日本の習慣や文化、芸術、宗教に至るまで幅広く取り上げ、理解を深めるとともに、「留学した際に適切な英語で日本文化を紹介できるようになる」ことを目標に学んでいきます。日本文化に関する独特な語彙や表現を学びながら、難しい言い回しを自分自身の言葉で分かりやすく、ロジカルに説明できるスキルを身につけます。授業は英語で行うため、スピーキングとリスニングを同時にトレーニングできます。

## オンライン英語学習（Global English）

### インターネットで行う家庭学習プログラムです！

１日約１５分を目標に、出発までの６ヶ月間、継続的な家庭学習に取り組むことで、留学に必要な英語力の素地を身につけます。レベル分けテストの結果に基づいて、自分の英語力に合ったレベルで取り組めます。

特徴
- ◆ホームステイ先や教室など、現地で使える英語を学べる。
- ◆カラーのイラストや写真がリスニングの理解に大きく役立つ。
- ◆ネイティブの先生による英会話レッスンも受けられる。

### 海外留学経験者（海外大学院修了）が徹底指導!!

**Travis Holtzclaw**（トラヴィス・ホルツクラー）
本校ALT（米国大学院修了・英語教授法）
JALT（全国語学教育学会）教材開発研究会役員
英検2級・準1級対策本（三修社）執筆
TEAP対策本（三修社）執筆

**鎌倉 好男**（かまくらよしお）
本校英語科教諭（米国大学院修了・ＭＳ教育学）
21世紀型教育推進部部長、国際NGO主宰、英検1級、他

**荒川 真**（あらかわまこと）
本校英語科教諭（豪州大学院修了・英語教授法）
21世紀型教育推進部、IELTS 6.5、TOEIC 930点

# １学期間の留学（イマージョン）　高校1年：1月〜4月

## 要項

| | |
|---|---|
| 日　程 | 高１の１月末〜高２の４月上旬（約３ヶ月間） |
| 対　象 | 高校１年生 |
| 定　員 | ２０名 |
| 参加条件 | 英検準２級以上<br>全科目の成績が１０段階中５以上（1・2学期）<br>遅刻・欠席の日数があわせて１０日以内（1・2学期）等 |
| 費　用 | 約110〜120万円（宿泊費・交通費・研修費、食事代など）<br>※一定の成績をおさめた生徒（12名）に対して、東京都私学財団より補助金制度（一人55万）があります。<br>※高校一般入試で優秀な成績をおさめた生徒（３名）に対して、明法GSP特待制度（一人50万円）があります。 |

**先輩たちに人気の科目ベスト５**

1位：Design Technology（デザイン技術）
2位：Maths（数学）
3位：Business（ビジネス）
4位：Fitness/PE（体育）
5位：Drama（演劇）

**先輩たちが苦労した科目ベスト５**

1位：Religion（宗教）
2位：English（英語）
3位：History（歴史）
4位：Science（科学）
5位：Drama（演劇）

## オーストラリア ビクトリア州メルボルン（過去ホストスクール実績）

| 学校名＼年度 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Nunawading Christian Callege | 3名 | 3名 | 3名 | 3名 | 3名 | 6名 | 3名 |
| Beaconhills College | 3名 | 2名 | 4名 | 4名 | 4名 | 3名 | 3名 |
| Edinburgh College | 3名 | 3名 | — | 3名 | — | 3名 | 3名 |
| Christian Heritage College | 3名 | 3名 | — | — | 4名 | 4名 | 4名 |
| St. Francis Xavier College | — | — | — | — | 3名 | 3名 | 3名 |

※事前アンケートを基にホストスクールを決定します

## 現地の時間割（例）

| | 8:30-8:50 | 1 8:50-9:50 | 2 9:50-10:50 | 10:50-11:10 | 3 11:10-12:10 | 12:10-12:55 | 4 1:00-2:00 | 5 2:00-3:00 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| MON | Assembly | Design&Technology | | Break | English | Lunch | Math | History |
| TUE | Form Time | Science | English | | Art | | PE (Outdoors) | French |
| WED | Form Time | Religious Education | Science | | ICT | | Geography | Math |
| THU | Assembly | Music | English | | History | | Maths | Science |
| FRI | Form Time | PE (Indoor) | French | | English | | Science | Geography |

メルボルンはオーストラリア第２の都市で、世界でも住みよい都市のひとつとして知られています。多種多様な民族が集まるコスモポリタンな都市で、訪問者を温かく迎える風土があります。また、ビクトリア州は「教育の州」と知られ、卓越した教育と学習で名高い国内最大規模の大学も揃っていて、世界最先端の教育システムを持つオーストラリアの中でも、国内第２の規模の教育システムを提供しています。

# 事後指導　高校2年：4月〜6月

## 留学体験シェアリング（英語プレゼンテーションコンテスト）

帰国後、生徒たちは留学を通して学んだ点を英語でプレゼンテーションします。このシェアリングセッションは毎年コンテスト形式で実施され、３名の審査員を含めた約80名の関係者の方々（保護者・次年度留学生・教職員など）が参観されます。多くの聴衆を前に、帰国生たちはパワーポイントを駆使して立派に発表をやり遂げます。

## 留学報告書作成（冊子）

事前研修（約7ヶ月間）、留学（約３ヶ月間）、事後研修（約2ヶ月間）と、およそ1年間にわたる留学プラグラムの集大成として、「留学報告書（レポート）」を作成します。生徒たちは、留学に際しての３つの目標（「発信型の英語力を身につける」「多様性を醸成する」「チャレンジ精神と協調性を養う」）を検証するといった観点から作文をします。

# オリジナル教科「21世紀」

留学で得た英語力を維持しつつ、
21世紀型スキルを学ぶ！

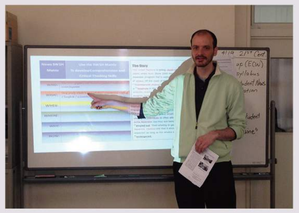
世界のイノベーションを牽引する米国では、クリティカル・シンキングやクリエイティブ・シンキングをはじめとした「21世紀型スキル」を修得するための教育が実践されています。本校では高2・高3の文系選択科目として、これらのスキルをゼミ形式の参加型授業で身に付けていく授業が設置されています。
履修生徒の大半がターム留学から帰国した生徒たちで、授業は英語で行われます。

## 授業の特色

### 1 ゼミ形式で行われるオールイングリッシュの授業

米国の大学院を修了し、日米両国で教授経験が豊富なネイティブ教師が週２時間（連続1コマ）の授業を担当します。前半はCNN Student Newsを用いて世界の時事問題を取り上げ、語彙の学習やリスニング練習の後にディスカッションを行います（関連分野の外部講師を招聘することもあります）。後半はディベート大会への準備やTED Talksの視聴、米国高校生とのPBL※を通して、クリティカル・シンキングやクリエイティブ・シンキングなどの「21世紀型スキル」を修得していきます。

※Problem Based Learning（問題解決型授業）



### 2 ICTを活用してアメリカの高校と交流

アメリカのMonte Vista Christian Schoolと交流を行なっています。21世紀の授業ではVoice Thread※などWeb2.0ツールを活用し、世界の時事問題に関してディスカッションを行ったり、イノベーションのケーススタディーを協働して行います。

※テキスト、写真、音声、ビデオを共有できる「オンライン上の会議室」

### 3 アクティブ・ラーニングによる授業

21世紀のグローバル社会で活躍するために不可欠な素養（思考力・決断力・表現力・英語発進力）を身につけることを目標にしています。そのために、英語ディベート大会への参加やVoice Threadを利用した米国高校生とのPBLをはじめ、普段の授業でもTrigger Question※やICTの活用を基盤とした「アクティブ・ラーニング」を導入し、20世紀型の学習形態からの転換を図ります。また年に2回、外部から講師を招聘し、普段の学習内容（国際時事問題+21世紀型スキル）と実社会での活用事例を結びつけるための場も提供しています。「21st Century Reading〜Creative Thinking and Reading with TED Talks〜（National Geographic×Cengage Learning）」をテキストとして使用。評価に関しては定期考査を実施せず、毎週の課題や授業内小テスト、パフォーマンステスト等による評価を行っています。

※あることへの「探求の引き金」となる有益な問いのこと



## ICT※を活用して米国の高校生と共同学習！

「21世紀」の授業では、オンライン上でテキスト、音声、写真、動画などを共有することのできる「Voice Thread」というツールを活用し、米国Monte Vista Christian Schoolの高校生と異文化交流をしています。例えば、CNN Student Newsで報道されたニュースを視聴した後、生徒自信がそれらの情報について調べ、英語でプレゼンテーション資料を作成します。これらの資料を基に、インターネット上でディスカッションが展開されます。地理・歴史・宗教などが色濃く反映された「異なった文化的価値観」を持った両国の生徒同士が共通の話題について議論することで、「これまでになかった気づき」や「新たな視点・考察」が生まれます。

※ Information and Communication Technology（情報通信技術）

### 交流校について

**Monte Vista Christian School**

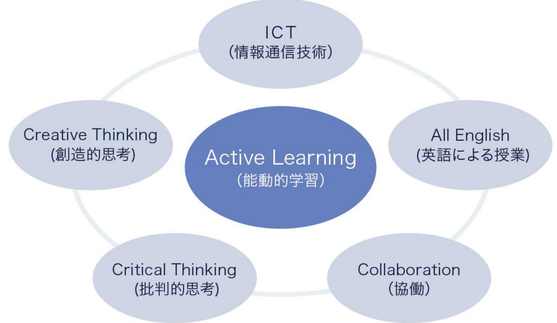
米カリフォルニア州・シリコンバレーの近くにある私立の進学校。最近では、グーグル・グラスなど最先端のICT機器を使用した斬新な教育手法で、州内でも注目を集めている。本校の「２１世紀」授業とは2013年から交流を続けている。

## オールイングリッシュで行う、アクティブ・ラーニング型の授業！

〜課題解決・付加価値の創造に向け、生徒が主体的・協働的に学ぶ新時代の学びの場〜

従来の教育が重視してきた「何を教えるか」という知識の質、量の改善に加え、「どのように学ぶか」「どのような力が身についたか」といった学びの質の深まりを重視した学習・指導方法を実践していきます。言い換えれば、21世紀の授業は「アクティブ・ラーニング（能動的学習）」を主軸として、実用的な英語力、問題解決力（Critical/Creative思考含む）、ICT活用力などの21世紀型スキルを修得していくための科目なのです。これらの力は、文部科学省が新学習指導要領や2020年度大学入試改革で目指す「思考力・判断力・表現力」や「4技能型英語力」にも対応しています。

| 一般の授業 | | 「21世紀」の授業 |
|---|---|---|
| 知識の獲得、解答力の養成 | 学習目標 | 問題解決、付加価値の創造 |
| 教師主体（講義型） | 授業形態 | 生徒主体（参加型） |
| 個人学習 | 学習形態 | グループ学習 |
| 答えが1つの問題 | 出題形式 | 答えが1つでない問題 |
| 定期考査、ノート点検中心 | 成績評価 | 小テスト、エッセイ、作品、討論 etc. |
| 教室中心 | 学習空間 | 教室+校外+オンライン上（体験を重視） |
| 紙ベース | 情報媒体 | デジタルデータ+紙 |
| 学校の教師 | 教授者 | 学校の教師+外部の講師 |
| 担当教師中心 | 作品鑑賞者 | 学校全体、保護者、外部の人 |
| 国語力 | 基礎学力観 | コミュニケーション力 |




## 実施例（高2生時、英語で行われる授業）

| | 1学期 | 2学期 | 3学期 |
|---|---|---|---|
| 世界情勢・国際時事問題の考察 | CNN Student Newsを視聴 | 時事英語を学びながら、国際問題に関して毎週異なったトピックを取り上げ、ディスカッションを行う。 | |
| 目標とするイベント（PBL） | 英語ディベート大会NFLJ※<br>※海外の高校生も参加する全国大会 | 米国高校生と共同学習 | 外部講師による課題解決型ワークショップ |
| 21世紀型思考・スキル（育成する主な能力） | Critical / Logical 思考 | Critical / Creative 思考<br>ICT活用力 | Problem-Solvingスキル<br>Innovative思考 |
| 平常授業時の主な学習（内容） | 英語ディベート練習 | TED-Talks テキスト・映像<br>~Ideas worth spreading~ | 第４次産業革命<br>（IoT / AI / Big Data） |

## 明法GSP卒業生の声

### 横浜国立大学3年
### 髙林 央和（たかばやし ひろかず）

在学時：バスケットボール部所属

TOEIC955点(高3時)・英検1級合格（高2時）

**～ 都立進学重点校に合格しながらも、明法GSPに魅力を感じて入学！～**

僕は高校受験をしてこの学校に入学しました。最初は某都立高校の前に受けるいわゆる滑り止めとしてこの学校の見学をしたのですが、気づいたら明法の方が本命だと思う自分がいました。都立の進学校にも合格しましたが色々悩んだ末にここに来ました。一番大きかったのは他校と違いあくまでも3学期(ターム)のみの留学なので、留年などを気にせず留学に行けることでした。明法生としての3年間を終え、中3の頃の自分の判断が間違っていなかったと感じています。先生方の熱心な指導、友達との学校生活、どちらも素晴らしいものです。留学に行ったこと、そして留学で身につけたことを生かす「21世紀」を受けていたことも自分の力になっています。この学校には偏差値で計れない価値があるのだと思います。

### 慶應義塾大学2年
### 髙村 鴻太（たかむら こうた）

在学時：アメリカンフットボール同好会所属

英検２級合格（高２時）

**～GSP(ターム留学＋「21世紀」の授業) を通じた自己設計への第一歩～**

当たり前のことですが、世界には色々な人たちがいます。それは誰もが知っていることです。しかしそれを知っているのと、実際に「体感する」のとは全く次元が異なります。私はターム留学を通しての異文化交流で、日本人と外国人との文化的ギャップを痛感しました。そんな経験がきっかけとなり、大学では「人間」について学ぼうと考えました。また、「21世紀」の授業を通じては、柔軟な思考力を身につけられたと思います。毎授業行っていた国際情勢に関する英語でのディベートでは、多角的な考え方を自分のものにすることができました。実際、慶應大（SFC）の入試では、特別な対策をすることなく小論文の問題をクリアすることができました。このように、GSPは英語力の向上だけでなく、将来への動機作りや日々の思考力強化など、自己設計をするための重要なツールとなりました。

## GSP特別顧問を招聘しました

### Michael Lacktorin
### （マイケル・ラクトリン）氏

現山梨学院大学 iCLA
（国際リベラルアーツ学部）
学部長・教授
元国際教養大学 国際教養学部
グローバル・ビジネス課程 教授・課程長

米国・ミネソタ州の出身。シカゴ大学大学院でMBA（経営学修士）、慶應義塾大学大学院・経済研究科で博士号（経済学）を取得。複数のグローバル企業（野村総合研究所、Citibankなど）での勤務を経て、教育界に転身。米国や豪州、日本の大学で教授職を歴任し、現在に至る。21世紀にイノベーションを起こせる人材を育成するための「人間教育」として、リベラルアーツ教育の普及に努める。また、10代後半でベトナム戦争に従軍した経験から、教育を通じた「世界平和への貢献」を信条としている。

## 明法GSP生の大学進学先（全50名）

| | 進学先 | 学部 | 人数 |
|---|---|---|---|
| 国公立 | 南オーストラリア大学 | ビジネス | 1 |
| | 東京外国語大学 | 言語文化 | 2 |
| | 横浜国立大学 | 経営 | 1 |
| | 東京農工大学 | 工 | 1 |
| | 広島大学 | 工 | 1 |
| | 富山大学 | 工 | 1 |
| | 防衛大学校 | 人文・社会 | 1 |
| | 国立看護大学校 | 看護 | 1 |
| 私立 | 早稲田大学 | 社学・人科 | 3 |
| | 慶応義塾大学 | 文 | 1 |
| | 国際基督教大学 | 教養 | 2 |
| | 明治大学 | 経営、情報、文 | 3 |
| | 中央大学 | 法、経済、文 | 4 |
| | 青山学院大学 | 地球社会、文 | 2 |
| | 学習院大学 | 国際社会 | 1 |
| | 法政大学 | 理工 | 2 |
| | 立命館大学 | スポーツ健康 | 1 |
| | 獨協大学 | 国際教養 | 1 |
| | 明治薬科大学 | 薬 | 1 |
| | 成蹊大学 | 理工 | 1 |
| | 昭和大学 | 保健医療 | 1 |
| | 日本大学 | 商、理工 | 2 |
| | 東洋大学 | 文 | 1 |
| | 駒沢大学 | 法 | 2 |
| | 専修大学 | 文 | 1 |
| | その他の私立大学 | – | 10 |
| 医学 | 順天堂大学 | 医 | 1 |
| | 帝京大学 | 医 | 1 |
| | | | 50名 |

※2017年3月現在、明法GSP（1～5期生）大学進学希望者による実績。

### 明法GSP動画サイト

YouTubeのMEIHO TVにて、
GSPの詳細が分かる動画を配信しています。
QRコードからアクセスしてご登録ください。

# 明法中学・高等学校

http://www.meiho.ed.jp

〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-4-12 TEL:042-393-5611 FAX:042-391-7129 ［お問合わせ先］入試広報